

DIA

第14回DIAクリニカルオペレーション・ モニタリングワークショップ

自覚と覚悟が拓くClinical Operation新時代への挑戦
— 相互理解からの結実

2026年7月9日(木)-10日(金)+11日(土) 特典企画スペシャルディスカッション
ハイブリッド開催 | 日本橋ライフサイエンスハブおよびオンライン (Zoom)
7月11日(土)はオンラインのみ



概要

第14回クリニカルオペレーション・モニタリングワークショップでは、「自覚と覚悟が拓くClinical Operation新時代への挑戦—相互理解からの結実」をテーマとして、みなさまと活発なディスカッションができるようなセッションをご用意しました。

私たちクリニカルオペレーションを取り巻く環境は、ICH E6 (R3) が日本でもStep4からStep5に移行するという大きな節目を迎え、GCP Renovation の最終章となるこの改訂によりこれまでになく変革期にあります。GCP省令改正に向けた検討会や各種方針が示され、私たちの世代が「10年以上変わっていない治験環境を変革する!」という気持ちで変化を推し進めることが求められています。

私たちクリニカルオペレーションのメンバーは、各種方針が示される以前から変革に注目し、主体的に議論を重ねてきました。一方で、現場に目を向けると、その歩みは一様ではなく、従来の慣習から抜け出せていないことも多い現状を自覚する必要があります。我々はまさに“未完成”のスタートラインに立ち、これまでの積み重ねを次の一歩につなげる局面にあります。

今、私たちに求められているのは、この新たな挑戦を自分事ととらえ、立場を超えて知見を融合し、新たな可能性を引き出す姿勢です。そして、対話の中から相互理解を重ね生み出したものが、これまでの慣習を乗り越え、これからの医薬品開発を新時代へ導く原動力となります。

本ワークショップでは、「何のために」「誰のために」臨床開発を行うのかをあらためて問い直し、それぞれが思い描く新時代のクリニカルオペレーションのあり方を語り合います。異なる立場や歩みが重なり合い、未完成だからこそ拓いていける未来へ向けて、小さくても確かな“一歩”をともに踏み出す—そのようなワークショップとなることを目指します。

最後に、本年もワークショップ参加者と医療機関の方々を対象としたスペシャルディスカッションを3日目にWeb開催します。それぞれの本音を語り、相手をより理解できるDIAならではの機会として2021年より好評を頂いております。ワークショップの各セッションと共にこちらの機会も楽しみにご参加ください。なお、スペシャルディスカッションは本ワークショップとは別に事前登録が必要となりますのでご注意ください。

今年より、開催後のオンデマンド配信はありません。

展示 / ランチョンセミナー申込受付中

詳細については、ディー・アイ・エー ジャパンまでお問い合わせください。

DIA

DIA Japan
Nihonbashi Life Science Building 6F,
2-3-11 Nihonbashihoncho, Chuo-ku, Tokyo 103-0023 Japan
Tel: +81.3.6214.0574 Email: Japan@DIAglobal.org

Drug Information Association

Global Center: Washington, DC | Americas | Europe, Middle East & Africa | China | Japan |
India | Korea | Singapore & South East Asia

- **プログラム委員長**
- 岡田 久美子 ファイザー-R&D合同会社
- **プログラム副委員長**
- 南條 和由 武田薬品工業株式会社
- **プログラム委員**
- 花島 孝之 ファイザー-R&D合同会社
- 五百蔵 武士 神戸大学医学部附属病院
- 石橋 寿子 第一三共株式会社
- 岩花 未央子 アステラス製薬株式会社
- 南 健太郎 株式会社アイロムグループ
- 水上 真喜 独立行政法人医薬品医療機器総合機構
- 小野崎 千晴 イーピーエス株式会社
- 田丸 一磨 国立がん研究センター
- 内田 正志 ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社
- 渡部 歌織 東京大学医学部附属病院
- 山崎 大路 MSD株式会社
- **プログラムアドバイザー**
- 山内 美代子 中外製薬株式会社
- **DIA Japan COM Community Lead**
- 井上 和紀 エイツーヘルスケア株式会社
- **DIA Japan Operation Team**
- 窪田 有翔 エイツーヘルスケア株式会社
- 松永 英莉 第一三共株式会社
- 養原 豪人 筑波大学
- 森脇 拓郎 アッヴィ合同会社
- 岡田 憲明 エーザイ株式会社
- 柴山 春奈 パレクセル・インターナショナル株式会社
- 山本 華代 ノバルティスファーマ株式会社
- 一般社団法人ディー・アイ・エー・ジャパン
- 新美 満洋

スタートアップ・ベンチャー企業向け
の「新価格」を導入しました!

詳細は最終ページの申込用紙をご参照ください。

DIA volunteers, members, and staff provide a comprehensive catalogue of conferences, workshops, training courses, scientific publications, and educational materials, throughout the year, all around the world.

DIAglobal.org

1日目: 2026年7月9日(木)

9:00-9:30 チャットセッション受付

9:30-11:30 チャットセッション(現地参加のみ)

小グループでのカジュアルなディスカッションを通して、医薬品開発に関わる方たちとの本ワークショップのセッションの掘り下げ、情報共有等ネットワーキングの場を提供します。以下のセッションテーマの中からご希望のものをお選びください。

- 1 英語学習の黒歴史、そろそろ共有しませんか?
- 2 中間管理職、正直しんどくないですか?
- 3 治験エコシステム、そこに無駄なプロセスはある?
- 4 FMV、誰もが納得できる費用ってどういうもの?
- 5 DCT、患者さんのためになっている?
- 6 S-IRB、試験開始手続きはどうなるの?
- 7 E6(R3)と改正GCP、考えるGCPはどうなるの?

[こちら](#)からお申込みください。



※申込期限: 6月30日(火)まで

ファシリテーター:

エイターヘルスケア株式会社

井上 和紀

DIA Clinical Operation・Monitoring Community members

TBD

TBD

TBD

TBD

TBD

TBD

TBD

TBD

DIA Clinical Operation・Monitoring Community Team紹介

- Collaboration Team
- Chatting TOKYO Team
- Chatting KANSAI Team
- QMS Team

DIA Operation Team 紹介

11:30-13:00 ランチブレイク/ランチョンセミナー

13:00-13:05 開会の挨拶

DIA Japan

新美 満洋

プログラム委員長/ファイザーR&D合同会社

岡田 久美子

13:05-13:45 KEYNOTE DIALOGUE

臨床開発に携わる私たちは、患者さんの健康な生活への貢献を目標として活動していますが、忙しい業務をこなす日々の中で、ふとその原点を見失ってしまうこともあるのではないのでしょうか。今回はKeynote Dialogueと題し、基調講演にとどまらない、患者家族を起点とした対話を行います。一方向の講演ではなく、参加者同士、また登壇者と参加者の対話を通じて、臨床開発が患者さんの「ふつうの生活」にどう向き合うべきかを共に考えます。

座長:

第一三共株式会社

石橋 寿子

ファイザーR&D合同会社

岡田 久美子

臨床開発は、患者さんの“ふつうの生活”とどう向き合っていくのか

— 小児・AYAがん患者・家族の声から考える —

SPARKLE & CONNECTION(スパコネ)/患者・家族支援活動

藤井 由美

Dialogue Partner

国立がん研究センター

田丸 一磨

13:45-15:15 セッション1

説明同意の最前線から学ぶ ～患者の意思決定を支えるCRCの視点から～

治験における説明同意は、患者が自ら意思決定を行うための重要なプロセスですが、治験依頼者がその意思決定の実際や、現場での支援のあり方を具体的に知る機会は多くありません。

本セッションでは、精神科・小児・難病・救急など多様な領域において、患者や家族の意思決定に寄り添ってきたCRCの実践経験を共有します。患者背景や心理、家族対応、代理同意や緊急時対応といった現場特有の視点から、治験依頼者が普段は見えにくい意思決定の場面を具体的にイメージし、今後の業務に生かせる示唆を提供します。

座長:

第一三共株式会社

石橋 寿子

イーピーエス株式会社

小野崎 千晴

患者と家族の意思決定に私たちはどのように関わるか

～精神科領域の治験の経験から～(仮)

桶狭間病院藤田こころケアセンター

坪井 宗二

小児筋ジストロフィー治験におけるプロトコル遵守とQOL維持の両立を目指して(仮)

熊本大学病院

布田 由紀子

救命救急の現場で“同意”を支える

～限られた時間の中でCRCができること～(仮)

大阪大学医学部附属病院

大宮 真紀子

パネルディスカッション

本セッションの講演者

15:15-15:45 コーヒーブレイク

15:45-17:15

セッション2

ICH-E6(R3)とGCP省令改正～対話から考える現場の変化～

ICH-E6(R3)への移行とGCP省令改正を迎え、臨床開発の現場は大きな転換期にあります。本セッションでは、E6(R2)で導入されたリスクベースドアプローチを振り返りつつ、E6(R3)及びGCP省令改正が現場にもたらす変化を想像します。規制当局、治験依頼者、CRO、医療機関がそれぞれの立場から制度改正の背景や期待、現場で直面する課題を共有し、CTQ要因を含む新たな考え方をどのように理解し、実装につなげていくか、対話を通じて考えます。

座長:

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構

水上 真喜

MSD株式会社

山崎 大路**ICH-E6(R3)とGCP省令改正が目指す方向(仮)**

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構

滝澤 ひろみ**規制改正がもたらす臨床試験実務の変遷**

— 製薬企業におけるICH-E6(R2)導入後の取り組みとE6(R3)導入に向けた対応

アステラス製薬株式会社

岩花 未央子**規制改正がもたらす臨床試験実務の変遷**

— 医療機関におけるICH-E6(R2)導入後の取り組みとE6(R3)導入に向けた対応

金沢大学附属病院

田中 祐子**パネルディスカッション**

本セッションの講演者および

エイツーヘルスケア株式会社

重見 奈美

17:15-17:35

ショートブレイク

17:35-18:35

ポスターセッション

ポスター掲示(会場内に終日)およびステージ発表(5分発表+質疑3分)で、医療機関・治験依頼者・実務者が現場での「挑戦」と「活動成果」を所属を超えて共有します。本ワークショップでは初の取り組みになります。

座長

神戸大学医学部附属病院

五百蔵 武士

株式会社アイロムグループ

南 健太郎**P1: 治験実施医療機関と治験依頼者の協業による治験環境改善に向けた実践的取り組み**

ファイザーR&D合同会社

山口 真美**P2: Site Capability向上に資する治験事務局実務者コミュニティの役割—治験事務局実務者コミュニティ(jimtomo)の実践—**

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター

鈴木 智恵子**P3: IRBの“今”を可視化する: 国内IRBの稼働状況と初回審査の実態調査 -ISEI-PJ-**

ISEI-PJ(実施医療機関/治験依頼者連携 治験の効率向上プロジェクト)/奈良県総合医療センター

今中 比砂野**P4: 治験実施における医療機関と治験依頼者の相互理解を深める取り組み—山形大学&ファイザーR&D合同会社—**

ファイザーR&D合同会社

宗宮 加奈**P5: JSCTR認定取得者による自律的コミュニティ「OLIVE (Organization of Leaders in Innovation, Validation, and Excellence in Clinical Trials)」の立ち上げと活動成果報告: 所属を越えた情報共有促す相互理解と人材育成の可能性**

国立がん研究センター東病院

鍛 美智子**P6: 製薬企業団体等の立場から見た様式統一への参画と貢献-令和7年度治験エコシステム導入推進事業 課題C: 様式統一に関する課題に参加した経験から-**

日本製薬工業協会

藤岡 慶壮

18:35 開始

情報交換会



境界を踏み越えて、
新結合
で拓く、予想を超えた
未来

第23回DIA日本年会2026境界を踏み越えて、「新結合」で拓く、
予想を超えた未来2026年10月18日(日) - 20日(火)
東京ビッグサイト

DIA

2日目: 2026年7月10日(金)

9:15-10:45

セッション3

**Start Upの質・スピード・現場負担をSingle IRB原則下で問い直す
～三者協働の覚悟を紡ぐ～**

GCP改正によるSingle IRB原則化を目前に、治験エコシステムが直面するのは「スピード向上」ではなく「質・スピード・現場負担をどう両立させるか」という戦略的選択ではないか。GCP施行前のこの限られた準備期間に、治験依頼者・医療機関・IRBの三者が何を優先し、何を割り切るのかを整理する。Start Up期間(IRB選定～SIVまで)全体を俯瞰しながら、施行前半～1年で自組織が実装すべきアクション、判断軸を明確にしたい。

座長:

アステラス製薬株式会社

岩花 未央子

神戸大学医学部附属病院

五百蔵 武士

TBD

TBD

TBD

TBD

聖路加国際病院

身崎 昌美

TBD

特定非営利活動法人臨床研究の倫理を考える会

菅原 克仁

パネルディスカッション

本セッションの講演者

10:45-11:15

コーヒーブレイク

11:15-12:45

セッション4

SSU (Feasibility調査)と症例集積と最適化

日本の治験は海外諸国と比較すると、施設立ち上げの遅れに加え、症例集積性の低さが課題とされている。特に症例集積性は、参加施設数の設定、治験費用、モニタリングの効率性にも関わり、本邦が治験実施国として選ばれる魅力を左右する重要な要素である。本シンポジウムでは、治験依頼者のフィージビリティ戦略、医療機関側の調査手法、ならびに症例登録に貢献するリクルートマネージャーの役割を通じ、症例集積性向上に向けた実践と課題を議論する。

座長:

東京大学医学部附属病院

渡部 歌織

ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

内田 正志

TBD

日本医科大学付属病院

島世 宏明

TBD

株式会社未来医療研究センター

高松 俊一

TBD

TBD

TBD

パネルディスカッション

本セッションの講演者

12:45-13:45

ランチブレイク

13:45-15:00

セッション5

対話×DX×実践で挑むICH E6 (R3)新時代のClinical Operation

これからのクリニカルオペレーションは、深化するDXとどう向き合うべきか。本セッションでは、ソリューションの優劣ではなく「発想に至るまでの思考と対話」に焦点を当てる。DXを活用し、個人・部分最適やデジタイゼーションに留まらず、プロジェクト全体の変革につながるデジタイゼーションへと発想を広げる視点を提示する。ICH E6 (R3)時代において、対話を通じた相互理解を基盤に、DXを手段として行動変容をいかに促し、その実践を治験エコシステム全体へと広げていくかを考える場としたい。

座長:

武田薬品工業株式会社

南條 和由

エイツーヘルスケア株式会社

井上 和紀

TBD

サスメド株式会社

上野 太郎**治験OS調査を変える現場発イノベーション ～CRCの声から生まれた
Vitalive OS～**

和歌山県立医科大学附属病院

山田 真規子

TBD

国立がん研究センター東病院

青柳 吉博

15:00-15:30

コーヒーブレイク

15:30-17:00

セッション6

「その判断、正しいだけでいいですか?」—考えるGCP時代に問われる意思決定と価値の共創—

治験は「手順遵守」から「原則に基づく意思決定」へと変化している。AIやDCTの活用により治験方法の選択肢が拡張される一方で、何を価値とし、どう考え、判断するのがこれまで以上に問われている。本セッションでは、未来の治験を舞台としたシミュレーションを通じて、正解のない状況で判断することの難しさを体験する。多様な立場の視点に触れながら、価値の共創とは何か、それを支える「考えるGCP」と人の育成について考える。参加者が自身の判断軸を問い直し、明日からの実務に活かせる視点を得ることを目指す。

座長:

ファイザーR&D合同会社

花島 孝之

国立がん研究センター

田丸 一磨**医療DX活用による、臨床研究の未来展望(仮)**

国立がん研究センター中央病院

伊藤 久裕**パネルディスカッション**

本セッションの講演者 および

17:00-17:20

コーヒーブレイク

17:20-18:05

総合討論

総合討論

TBD

座長:

ファイザーR&D合同会社

岡田 久美子

武田薬品工業株式会社

南條 和由

18:05-18:15

閉会の挨拶

プログラム副委員長/武田薬品工業株式会社

南條 和由

3日目: 2026年7月11日(土)

9:00-12:30

特別企画: CRCと治験依頼者側とのスペシャルディスカッション

(オンライン開催) 前半: レクチャー・後半: ディスカッション

モデレーター:

第一三共株式会社

石橋 寿子

1日目セッションのスピノフ企画として、1日目と同様のテーマを扱いつつも、異なる疾患領域での具体的な事例を通じて理解をさらに深めていただくことを目的に企画しました。治験依頼者の皆様には、疾患や状況が異なる中で、患者さんの意思決定がどのような場面で、どのような支援のもとに行われているのかを多角的に捉えていただき、CRCの皆様には、他の施設・他の領域のCRCがどのように考え、迷い、支えているのかを覗きながら、自施設・自領域とは異なる視点や工夫に触れ、自らの実践を振り返る機会としていただければと考えています。多様な疾患領域で説明同意の補助説明を担ってきたCRCと、複数の患者さんの声や意思決定の背景に触れてきた患者経験者の立場から、意思決定を支える現場の実践を共有します。

事前登録制

[こちら](#)からお申し込みください。会社によりPCからアクセスできない場合があります、その際はスマートフォンからQRコードを読み込んで入力をお願いします。

**参加資格**

- ・第14回DIA クリニカルオペレーションワークショップ参加者
- ・CRC/PI及び治験事務局(医療機関・SMO問いません)のすべての皆さま
- ・CRC・事務局の皆さまへのDIA参加体験企画としてこの3日目のスペシャルディスカッションには無料で招待。

プログラム

9:00 - 9:05 閉会の挨拶、本日の流れ紹介

9:05 - 10:20 第一部

説明同意の最前線から学ぶ～患者の意思決定を支えるCRCの視点から～
続編

・がん治療 (FIH含む) 領域現場から

国立がん研究センター東病院 岡安 羽純

・小児(アレルギー等) 領域現場から

福岡市立こども病院 仲島しのぶ

・様々な領域(主にIBD)の現場から

フェアリーベン株式会社 池田 江里

・様々な患者さんの声を聴いている立場から

卵巣がん体験者の会スマイリー 片木 美穂

10:20 - 10:30 休憩

10:30 - 12:40 第二部

10:30 - 10:35 意見交換会の説明

10:35 - 11:25 **CRCと治験依頼者のざっくばらんな小規模グループ
意見交換会(1)**

11:25 - 11:35 休憩

11:35 - 12:20 **CRCと治験依頼者のざっくばらんな小規模グループ
意見交換会(2)**

12:20 - 12:30 まとめ 総合ディスカッション

12:30 - 12:35 閉会の挨拶

会議参加申込書

一般社団法人ディー・アイ・エー・ジャパン

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-3-11
日本橋ライフサイエンスビルディング6F

Tel: 03-6214-0574

第14回DIAクリニカルオペレーション・モニタリング ワークショップ

[カンファレンスID #26307]

2026年7月9日(木)-10日(金)+11日(土) | ※ハイブリッド開催:日本橋ライフサイエンスハブおよびオンライン(Zoom)、7月11日(土)はオンラインのみ

◆参加申込方法

DIAウェブサイト(www.DIAglobal.org)よりお申し込みいただくか、この申込書に必要事項をご記入の上、メール Japan@DIAglobal.org に添付してお申し込みください。受理後、10営業日以内にEメールにて申込受領書を送付いたします。なお、チャットングセッション・3日目特典企画は別途お申し込みが必要になります。※任意参加、事前登録制。申込後に担当者よりお送りする参加申込受領書メール(Confirmation Mail)に記載のURLからお申し込みください。

◆参加費用(該当する□にチェックしてください)

会員資格が失効している方および非会員の方は、会員登録(更新)することにより、会員価格にてご参加いただけます。会員資格はお支払いいただいでから翌年同月末まで1年間有効です。DIA各種機関紙の入手、DIAウェブサイトの会員専用ページへのアクセス等、種々の特典も得られます。不明な点がございましたら、ディー・アイ・エー・ジャパンまでお問い合わせください。

①年会費 現在会員でない方で、会員登録をされる場合は希望する年会費の欄に印を入れてください。

*参加費の早期割引価格は現会員の方または会員登録と同時に申し込みされる方のみ適用されます。

会員資格が失効している方および非会員の方は、ぜひこの機会にぜひご登録ください。

**アカデミア、★スタートアップ・ベンチャー企業会員資格にお申し込みの方は、本申込書をディー・アイ・エー・ジャパンまでメールにてお送りください。

Membership (有効期間:1年間)	<input type="checkbox"/>	¥ 29,150 (税込)	スタートアップ・ベンチャー企業向け★	
2-Year Membership (有効期間:2年間/10%割引)	<input type="checkbox"/>	¥ 52,470 (税込)	Membershipの60%引きの価格で登録できます。	
Academia Membership ** (対象:大学関係・医療従事者、有効期間:1年間)	<input type="checkbox"/>	¥ 21,450 (税込)	(有効期間:1年間) <input type="checkbox"/>	¥ 11,660 (税込)
Academia Membership ** (対象:大学関係・医療従事者、有効期間:2年間/10%割引)	<input type="checkbox"/>	¥ 38,610 (税抜)	(有効期間:2年間) <input type="checkbox"/>	¥ 20,988 (税込)

②参加費 所属カテゴリーと会員資格の有無により異なりますので、該当欄に印を入れてください。

スタートアップ・ベンチャー企業
60%引きの価格で登録できます。

※日本SMO協会、日本CRO協会の
会員の方は、会員価格にて、ご参加
いただけます。□にチェックしてく
ださい。

日本SMO協会会員

日本CRO協会会員

カテゴリー	会員資格	早期割引 2026年6月18日までのお申込み		2026年6月19日以降のお申込み	
		<input type="checkbox"/>	¥ (税込)	<input type="checkbox"/>	¥ (税込)
一般企業	会員	<input type="checkbox"/>	¥ 57,860 (税込)	<input type="checkbox"/>	¥ 23,144 (税込)
	非会員	<input type="checkbox"/>	¥ 65,450 (税込)	<input type="checkbox"/>	¥ 26,180 (税込)
政府関係	会員	<input type="checkbox"/>	¥ 31,020 (税込)	<input type="checkbox"/>	¥ 35,420 (税込)
	非会員	<input type="checkbox"/>	¥ 59,180 (税込)	<input type="checkbox"/>	¥ 35,640 (税込)
非営利団体/ 大学関係/ 医療従事者	会員	<input type="checkbox"/>	¥ 23,650 (税込)	<input type="checkbox"/>	¥ 26,950 (税込)
	非会員	<input type="checkbox"/>	¥ 43,120 (税込)	<input type="checkbox"/>	¥ 43,120 (税込)

■参加方法の確認

オンライン参加を希望される方は、申込後に担当者よりお送りする参加申込受領書メール(Confirmation Mail)に、オンライン希望と返信ください。

会場の定員は140名となるため、現地参加希望の方が定員を超えたら、それ以降申し込みの方はオンラインでの参加となります。

③合計金額(①+②):

計 _____ 円

*最終確定金額はDIA Japanからお送りする受領書メールにてご確認ください

◆お支払方法

ご希望の支払方法にチェックを入れてください。

[支払方法] 銀行振込 請求書を送付しますので、その案内に従って振り込み手続きを行ってください

クレジットカード 使用可能クレジットカード(どちらか1つにチェック) VISA MasterCard

カード有効期限(mm/yy) _____

カード番号 _____

カードご名義 _____

ご署名 _____

ご入金の際は、ご依頼人の欄に必ず参加者名および会社名を記載してください。同一会社で複数名の参加費を同時に振り込まれる場合は、書面にて参加者名と振込日をディー・アイ・エー・ジャパンまでお知らせください。振込に関する手数料は、振込人負担をお願いいたします。

アルファベット(英語)でご記入ください

Last Name (姓) Dr. Mr. Ms. First name (名) Company

Job Title Department

Address City State Zip/Postal Country

email (必須) Phone Number (必須)

*参加のキャンセルは、お申し込み受理後、2026年6月11日までは手数料として一般会員・非会員とも20,000円、政府/大学関係者については会員・非会員とも10,000円を申し受けれます。それ以降のキャンセルについては参加費全額を申し受けれますのでご注意ください。同一会社からの参加変更は可能ですが、その際はお早めにディー・アイ・エー・ジャパンまでお知らせください。(会員資格の譲渡はできませんので、非会員としての参加費を申し受ける場合があります。) 参加をキャンセルされる際には、必ず書面にてディー・アイ・エー・ジャパンまでご連絡願います。会場は変更される場合がありますので予めご了承ください。

*本会では、DIAの宣伝活動に使用する目的で、開催期間中に参加者を含む会場内の映像・写真を撮影することがあります。本年会の参加者は、DIAが記録した映像・写真等について、DIAの宣伝資料、出版物及びインターネット等への掲載その他一切の利用に係る権利(肖像権、パブリシティ権等を含みます)はDIAに帰属することを認め、DIAが無償で任意に利用できることを承諾するものとします。

*DIA主催の会議には、必ず登録者ご本人にご参加いただくよう、お願いしております。

[DIAが取り扱う個人情報について] お申し込みいただいた個人情報はDIAからの会議案内送付等の目的に使用させていただきます。また当日は、ご参加いただく皆様の会社名または組織名とご氏名を記載したリストを参加者・講演者・関係者(プログラム委員)に限り配布する場合があります。本申込書の提出をもって以上の個人情報のお取扱いにご同意いただいたものと解釈いたしますが、ご同意いただけない場合はDIA Japanまでご連絡ください。